

新興国レポート

中国経済指標に明るい兆し

3月に入り工業生産や小売売上高等の指標が改善を示す

- ✓ 中国の2020年1～3月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前年同期比6.8%減。四半期では初のマイナス成長。同時に発表された経済指標等の一部には、3月に入り改善を示すものも。
- ✓ 2カ月ぶりに実施された利下げや新たな経済対策への期待が、経済活動の早期本格化を後押しするものと思われる。

(1) 中国経済が初のマイナス成長

- 中国国家統計局が4月17日発表した2020年1～3月期の実質GDP成長率は前年同期比マイナス6.8%と急減速しました。四半期でのマイナスは統計を遡れる1992年以降では初めてです（図表1）。中国国内で新型コロナウイルスの感染が拡大し、1月下旬から2月に経済活動が全面的に停止した影響が出ているようです。

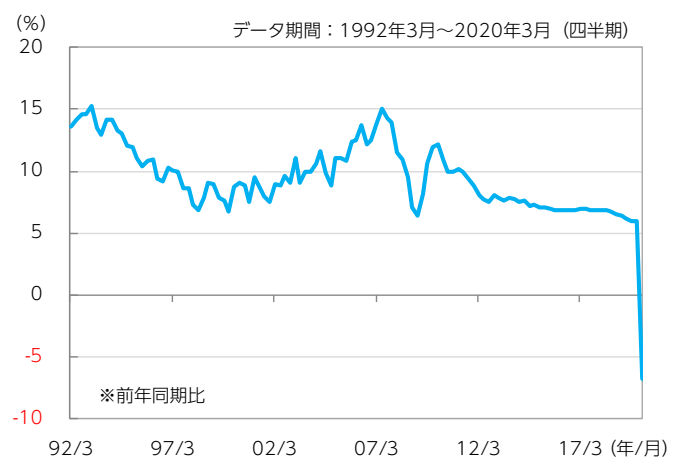
(2) 経済指標の一部に明るい兆しも

- 習近平（シー・ジンピン）国家主席が「基本的に抑え込んだ」と発言する等、新型コロナウイルスの国内での感染拡大がピークアウトしたとされる中国では、3月に入り経済活動再開の動きが始まっています。GDPと同時に発表された主要経済指標や、先に発表された貿易統計でもその動きを確認することが出来ます。1～3月の工業生産は、スマートフォンやパソコン等の立ち直り等を背景に前年同期比8.4%減と、1～2月の同13.5%減からマイナス幅が縮小しています。小売売上高や、工場やオフィスビルの建設等の固定資産投資、貿易統計（輸出・輸入）にも同様の傾向が見られます（図表2）。中国経済指標の一部に明るい兆しも見え始めたようです。

(3) 利下げや経済対策期待が回復を後押しか

- 中国人民銀行（中央銀行）は4月20日、事実上の政策金利である最優遇貸出金利（ローンプライムレート）1年物を4月は3月から0.2%下げ、3.85%にすると発表しました。下げ幅は前回2月の0.1%より大きくなりました（図表3）。新型コロナウイルスの感染拡大に苦しむ中小企業等の利払い負担を軽減する狙いがあるようです。中国国家発展改革委員会（NDRC）は同日、地方政府の特別債発行枠の拡大や主要プロジェクトへの支出拡大等、新型コロナウイルスの影響を緩和するマクロ経済政策を発動する余地は大きいとの認識を示しました。
- こうした利下げや新たな経済対策期待が、経済活動の早期本格化を後押しするものと思われる。

図表1：実質GDP成長率

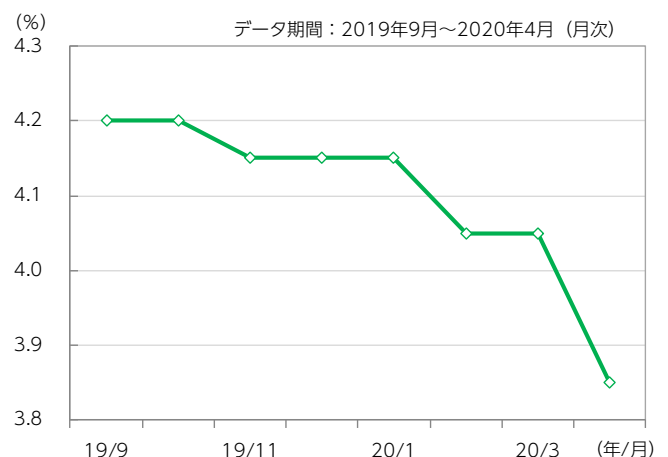


図表2：主要経済指標の伸び率

項目	2020年 1～2月① (%)	2020年 1～3月② (%)	改善幅 ②-① (ポイント)
工業生産	-13.5	-8.4	5.1
自動車	-46.1	-45.0	1.1
スマートフォン	-42.7	-29.0	13.7
パソコン	-28.9	-15.5	13.4
小売売上高	-20.5	-19.0	1.5
固定資産投資	-24.5	-16.1	8.4
インフラ投資	-30.3	-19.7	10.6
輸出	-17.2	-13.3	3.9
輸入	-4.0	-2.9	1.1

※前年同期比（輸出・輸入は米ドルベース）

図表3：ローンプライムレート1年物



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>